

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

2018年のセンター試験が終了しました。いよいよ、本格的な受験シーズン到来となります。センター試験の結果によっては一喜一憂している受験生も多いと思いますが、ここからの学習によって大きく実力を伸ばすことができます。センター試験の結果を振り返り、今後の学習の戦略と受験校の最終決定をしていきましょう。今回は受験校の最終決定をする際に、重要なポイントをまとめます。

国公立志望者はセンター試験の自己採点をもとに、各予備校等が実施しているセンターリサーチなどの状況によって出願する大学を決定していくことになるでしょう。

一方、私立大学受験者にはセンター試験の結果は関係ないのかというと、そうではありません。センター試験は「大学入試の基礎」といわれています。その点数はまさに直近の実力と見るすることができます。また

Q. センター試験をどう活用するか？

センター試験が初めての「入試」という人も多かったでしょう。その時自分がどのくらい緊張したかどうかなどを見極め、自分の第一志望校を受験する際にベストな状態で臨めるよう、試験に慣れるという観点から受験校を増やした方がいいケースもあるかもしれません。

また多くの受験生が「私立大学センター試験利用入試」を活用していると思います。自己採点の結果をもとに、センターリサーチなどによって合否の可能性を探ることができるでしょう。その結果によって出願校の検討が必要になるケースも出てくると思います。ただし注意をしなければいけないのは、自己採点が必ずしも正しいというわけではないということです(マークミスなどの可能性がある)。それを念頭に入れ、慎重に出願校を検討すべきでしょう。

「私立大学センター試験利用入試」は、センター試験日前(当日)に出願を締め切

る大学が多いですが、センター試験日実施後に出願締め切りを設定している大学もあります。例えば神奈川にある大学では関東学院、神奈川工科、鎌倉女子などが一例です。

センター試験後でも、「私立大学センター試験利用入試」で出願できる大学を検討することによって、合格する可能性が広がるでしょう。大学受験は期間が長く、その中で多くの生徒が合否の結果を確認しながら受験は進みます。その時の精神面なども考慮しつつ、自分が後悔しない受験校の選定をしていきましょう。

(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な「学び」の情報を紹介。次回は小学校編。



大学進学情報紙「TOSHIN TIMES」
CG高等館 東進衛星予備校各校舎で無料配布中

A. 受験校を定め、自らをベストな状態に